

〔倭名類聚抄十一〕船。釋名云、艇薄而長者曰船。〔中略〕今按、和名比其大、俗用平田舟。

〔箋注倭名類聚抄三〕所引文原書不載、亦蓋誤引方言也、方言云、艇長而薄者、謂之船、按說文、無船字、是舟薄而長、故得帶名、後人从舟作船字也。

〔類聚名義抄三〕船音帶、ヒラタ、舟ウフ子、子ヒラタ。

〔和玉篇中〕船ヒラタ、子ヒラタ。

〔東雅器財〕船ヒラタ。倭名鈔に、釋名、艇薄而長者曰船、今按するに、船はヒラタダ、俗に平田舟の字を用ゆと注したり、義いまだ不詳、俗に凡物の薄きをヒラともヒラタともいふ也、葉手をヒラテといふがごときは、是也、舟の薄きものなり、れば、ヒラタフ子といひひしなり。

〔倭訓栞前編二十五〕ひらだ。新撰字鏡に、艘をよみ、倭名抄に、船をよみ、俗に用平田舟といへり、平板也。

〔類聚名物考船車一〕平田舟。ひらだぶね。船和名。平駄俗。

今もこの名有、小平田、大平田、といふ、その大平田の猶大なるを五、大、力、といへり、賃積舟にて重きをのすれば、五、大、力、菩薩の名をとれり、平駄もその形ひらたければ、かくいふ也。

〔和漢三才圖會三十四〕船ひらだ。和名比良太。俗用平田舟。〔中略〕

按、船形似舩而長薄、以宜行淺川、其長三丈餘。

〔諸造船式圖〕中船。船。見。沼。通。船。ト云。

上口凡。長三丈四、五尺。横七尺位。

船船。俗。ニ川。越。ヒラダ。

上口凡。長五丈一、二尺。横一丈位。ヨリ一丈四五尺位。尺マテ、

荒川通ニ有之。